

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	あけぼの医療福祉センター成人寮	所管課	障害福祉課
所在地	荏崎市旭町上條南割3251-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和48年4月1日 (平成18年9月1日)
管理方式	指定管理者((福)山梨県障害者援護協会、平成18年9月1日～平成28年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	身体障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図ること。		
主な施設内容 (定員等)	理学療法室、機能訓練室、自立訓練室、パソコン訓練室、訓練室、職能判定室、言語聴覚室、活動室、静養室・医務室、食堂(3箇所)、洗濯室(2箇所)、浴室・脱衣室、多目的ルーム、スタッフステーション、居室(10.5m ² ×55室) 自立訓練(機能訓練)(20名)、生活介護(40名)、施設入所支援(40名)、短期入所(10名)		
主な業務内容	(1)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (2)利用者に対するサービス業務 ・生活介護・施設入所支援・自立訓練(機能訓練)・短期入所 (3)その他知事が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・利用状況等	○山梨県立あけぼの医療福祉センター (重症心身障害児入所(60)・通所(15)、肢体不自由児入所(20)・通園(10)) ○山梨県立育精福祉センター (障害者支援施設:生活介護(105)、施設入所支援(90)) (知的障害児施設(70))
---------------	---

3. 利用状況

単位:人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
利用者数	利用者数(入所)	49			
	利用者数(通所)	6			
	自立訓練(機能訓練)		20	17	20
	生活介護		39	39	40
	施設入所支援		40	39	40
	短期入所		14	15	10
	利用者数合計	55	113	110	
	目標値				
	目標値設定の考え方	良質なサービスの提供を図る指標として、施設が利用者一人ひとりに作成している個別支援計画の達成度合いがあるが、障害者の障害程度が異なり、個別支援計画の目標達成度合いを一律に1年間で評価することは難しいことから、年度ごとの具体的な目標管理は出来ない。			
	対20年度比	100.0%	205.6%	200.0%	0.0%
稼働率	50.0%	113.0%	100.0%	100.0%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	189,536,305	187,200,000	188,669,593	192,600,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	5,949,168	5,400,000	6,538,359	4,400,000
	収入合計(A)	195,485,473	192,600,000	195,207,952	197,000,000
支出	人件費	102,838,614	114,180,000	111,975,212	126,170,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	60,226,693	78,420,000	62,472,154	70,830,000
	(うち外部委託費)(B)	4,962,774	5,220,000	5,151,396	5,800,000
	支出合計(C)	163,065,307	192,600,000	174,447,366	197,000,000
収支差額(A-C)		32,420,166	0	20,760,586	0
外部委託比率(B÷C)		3.0%	2.7%	3.0%	2.9%
利用者一人当りの経費		0	#DIV/0!	0	#DIV/0!

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当りの経費の算定式は、指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年2月~23年3月、 実施方法:利用者へのアンケート、 回答数:40人
-------	--

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設・設備管理	83.0%	0.0%	15.0%	0.0%
プライバシーや個人情報	86.0%	0.0%	14.0%	0.0%
食事	63.0%	0.0%	37.0%	0.0%
職員の対応	90.0%	0.0%	10.0%	0.0%
利用者への日常サービス支援サービス	98.0%	0.0%	2.0%	0.0%
訓練内容(日中の作業や療法など)	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%
各項目の平均	83.3%	0.0%	16.3%	0.0%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊トイレを増やして欲しい。部屋の棚をもっと欲しい。 ・献立の内容がよくない。同じメニューが多い。味が薄い。 ・日常生活動作訓練や外出の機会を増やして欲しい。もっといろいろな活動がしたい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋のレイアウト変更等で対応できるものについては、可能な限り対応した。 ・食事に関しては、利用者個々の嗜好の違いもあり、全ての利用者の要望に対応するのは難しいが、年4回実施される給食委員会等で直接利用者の意見を栄養士や業者へ伝え、改善に努めている。 ・集団活動においては、利用者の障害や年齢・社会性などの違いがあり、どこに基準をおくかにより満足度が変わるため、より多くの利用者の意見を取り入れられるよう対応している。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、概ね適正に実施されている。 今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。
自主事業	該当なし	該当なし
利用状況	入所サービス事業は年間を通じて事業計画を上回る利用実績を上げている。 通所事業に関しては事業計画には及ばないが関係機関との連携やサービスの周知を行い利用者の確保に努力した。 ・施設入所支援 97.7% ・生活介護 98.1% ・自立訓練(機能訓練) 85.0% ・短期入所 159.2%	関係機関からの実習生や見学者を積極的に受け入れたり、ホームページの更新等、施設利用促進のために努めている。今後も引き続きさらなる関係機関との連携を含め利用者の確保に努力されたい。
収支状況	積極的なサービスの提供により結果として増収につながった。支出面でもコスト削減に努めた。	コスト削減により、効率的な運営・管理が行われた。 引き続き同様の経営が実現できるよう努力されたい。
利用者満足度	要望のあったことについては、可能な限り対応を行った。今後とも利用者の声を聞き、改善できる点は行き、より一層のサービス向上に努めていく。	満足度の平均値が83.3%と利用者は概ね満足していると考えられる。特に利用者への日常サービス支援に対する評価が増加している。一方、リハビリテーション・作業訓練の満足度が低下傾向にあるため、より多くの利用者のニーズを把握したうえで、集団活動及び訓練メニューを提供されるよう努力されたい。
運営目標の達成状況	個別支援計画に沿ったサービスを提供するとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行なうことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	①施設管理・運営業務等について、条例、協定等に基づき概ね適正に履行した。 ②経費削減に努めるとともに、増収に努めた。 ③利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力した。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	①条例、協定等に基づき適正な執行を行う。 ②経費削減に努めるとともに、サービス利用を促すよう広報等行っていく。 ③平成22年度から利用者個々のケースに対するケア会議を実施し、よりきめ細やかな支援を行うため計画策定に努力をしている。	

7. 管理体制(組織図)

